

令和 2 年度（令和元年度分）

「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況について

1 数値目標と重要業績評価指標（KPI）の評価

4つの政策の基本目標ごとに設定した「数値目標」と、それぞれの施策について5年間の取組に対して設定した「重要業績評価指標（KPI）」について、年度ごとの目標値である「期待値」に対する達成状況を「A」、「B+」、「B」及び「C」の4段階の区分で評価する。

なお、評価においては、「A」及び「B+」評価について概ね期待した成果が得られたと判断するものとする。

（1） 県総合戦略の数値目標・KPIについて

区 分	数値目標	K P I
[基本目標1]「新しい豊かさ」へのチャレンジ	3 指標	6 1 指標
[基本目標2]「新しい安心安全」へのチャレンジ	2 指標	3 0 指標
[基本目標3]「新しい人財育成」へのチャレンジ	4 指標	3 3 指標
[基本目標4]「新しい夢・希望」へのチャレンジ	2 指標	3 6 指標
	1 1 指標	1 6 0 指標

（2） 数値目標・KPIの達成状況の評価方法（令和元年度の進捗状況評価）

評価区分		評価基準（達成率による区分）
A	順 調	「実績値」が「期待値」以上
B+	概ね順調	「実績値」が「期待値」の 80～99%
B	やや遅れ	「実績値」が「期待値」の 50～79%
C	遅 れ	「実績値」が「期待値」の 50%未満

実績値は令和 2 年 12 月末時点

（3） 数値目標・KPIの達成率の算出式（標準例）

$$R 1 \text{ 年度の進捗状況評価} = (R 1 \text{ 年度実績値} - \text{基準値}) \div (\text{目標値} - \text{基準値}) \times 100$$

なお、毎年度一定数の目標の達成を目指す場合など、上記の算出式に抛りがたい場合には、達成率の算出方法を適宜見直して評価を実施している。

（例：毎年度一定数の目標の達成を目指す場合：達成率 = 毎年度の実績値 ÷ 毎年度の目標値）

参考 新型コロナウイルスの影響を受けたK P Iの考え方について

新型コロナウイルス感染症の拡大による実績減などの影響を受けた指標については、通常の達成率と併せ、各指標毎にコロナの影響がある期間を設定し、当該期間分の数値を期待値及び実績値から控除した達成率についても算出し、コロナの影響を控除した評価を実施

影響指標	影響の概要
No.83 コミュニティ交通の利用者数	3月県民の外出意欲の減退に伴う実績減
No.134 海外からの観光ツアー催行数	1月下旬以降の中国でのツアー販売禁止、他国でのツアーキャンセル増加に伴う実績減
No.136 旅客者数	2月上旬から中国便、3月下旬から台北便の全便運休に伴う実績減
No.137 ターミナルビル来場者数	政府の外出自粛要請（2/25～）に伴う実績減

2 評価結果

(1) 数値目標【参考資料1】

基本目標	指標名 (目標値の達成度)	「A」 評価	「B+」 評価	「B」 評価	「C」 評価	評価 対象外	指標数 合計
		100%以上	80～99%	50～79%	50%未満		
基本目標1 「新しい豊かさ」への チャレンジ	・雇用創出数 1 (A) ・人口の社会移動数 (C) ・生産農業所得(販売農家一戸あたり) (B+)	1	1	0	1	0	3
基本目標2 「新しい安心安全」への チャレンジ	・医師数 (B+) ・健康寿命 (A)	1	1	0	0	0	2
基本目標3 「新しい人財育成」への チャレンジ	・生徒の英語力 (B) ・全国レベルのプログラミングコンテスト (中高生向け)の入賞組数 (C) ・理想の子どもの数と実際の子どもの数の差 [県民が希望する子どもの数と実際の子どもの 数の差] 2 (B+) ・保育所等の待機児童数 (B)	0	1	2	1	0	4
基本目標4 「新しい夢・希望」への チャレンジ	・住みよさランキング100位以内の市数 全国順位 (C) ・観光消費額 (C)	0	0	0	2	0	2
合 計		2	3	2	4	0	11

1 「雇用創出数」については、「企業誘致による雇用者増加数」「起業による雇用増加数」「観光消費額増に伴う雇用創出効果」「就労機会の創出数」「新規就農者数」「就業看護職員数」「介護職員数」の合計により推計しているが、「新規就農者数」「介護職員数」は未公表のため、前年度の実績を計上し、暫定値としている。

2 「理想の子どもの数と実際の子どもの数の差」は今年度調査が実施されない。したがって、茨城県総合計画で設定した類似の指標である「県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差」を代用して評価する。

(2) 重要業績評価指標(KPI)【参考資料2・3】

			「A」 評価	「B+」 評価	「B+」 評価 以上	「B」 評価	「C」 評価	評価 対象 指標計	評価 対象外 指標	指標数 合計
			(目標値の達成度)	100%以上	80～99%	80%以上	50～79%			
基本目標1 「新しい豊かさ」への チャレンジ	(ア)	科学技術を活用した 新産業育成、中小企業の成長支援	6	1	7	2	3	12	3	15
		50.0%	8.3%	58.3%	16.7%	25.0%				
	(イ)	質の高い雇用の創出	7	-	7	1	1	9	2	11
		77.8%	-	77.8%	11.1%	11.1%				
	(ウ)	「強い農林水産業」の実現	5	3	8	3	4	15	-	15
			33.3%	20.0%	53.3%	20.0%	26.7%			
	(エ)	エネルギー対策の実現	-	-	-	1	2	3	1	4
-			-	-	33.3%	66.7%				
(オ)	多様な働き方の実現	4	2	6	3	3	12	4	16	
		33.3%	16.7%	50.0%	25.0%	25.0%				
計(指標数 61)		22	6	28	10	13	51	10	61	
		43.1%	11.8%	54.9%	19.6%	25.5%				

(2) 重要業績評価指標 (KPI) [続き]

(期待値の達成度)				「A」	「B+」	「B+」	「B」	「C」	評価対象 指標計	評価対象外 指標	指標数 合計
				評価	評価	評価以上	評価	評価			
基本目標2	新しい安心安全 チャレンジへの	(ア)	県民の命を守る 地域医療・福祉の充実	2	4	6	2	2	10	-	10
				20.0%	40.0%	60.0%	20.0%	20.0%			
		(イ)	健康長寿日本一	2	1	3	3	1	7	-	7
				28.6%	14.3%	42.9%	42.9%	14.3%			
		(ウ)	障害者の就労機会の拡大	-	2	2	-	-	2	-	2
				-	100.0%	100.0%	-	-			
		(エ)	安心して暮らせる社会づくり	1	2	3	2	1	6	-	6
16.7%	33.3%			50.0%	33.3%	16.7%					
(オ)	災害に強い県土づくり	-	1	1	3	1	5	-	5		
		-	20.0%	20.0%	60.0%	20.0%					
計 (指標数 30)				5	10	15	10	5	30	-	30
				16.7%	33.3%	50.0%	33.3%	16.7%			
基本目標3	新しい人財育成 チャレンジへの	(ア)	次世代を担う「人財」育成	4	3	7	-	4	11	1	12
				36.4%	27.3%	63.6%	-	36.4%			
		(イ)	教育環境の充実	3	2	5	-	1	6	-	6
				50.0%	33.3%	83.3%	-	16.7%			
		(ウ)	日本一、子どもを産み育てやすい県	1	2	3	3	4	10	2	12
				10.0%	20.0%	30.0%	30.0%	40.0%			
(エ)	学び・文化・スポーツに親しむ 環境づくり	1	-	1	1	-	2	1	3		
		50.0%	-	50.0%	50.0%	-					
計 (指標数 33)				9	7	16	4	9	29	4	33
				31.0%	24.1%	55.2%	13.8%	31.0%			
基本目標4	新しい夢・希望 チャレンジへの	(ア)	魅力度No.1プロジェクト	-	2	2	1	1	4	-	4
				-	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%			
		(イ)	世界に飛躍する茨城へ	-	3	3	1	1	5	-	5
				-	60.0%	60.0%	20.0%	20.0%			
		(ウ)	ビジット茨城 ~新観光創生~	5	1	6	3	6	15	-	15
				33.3%	6.7%	40.0%	20.0%	40.0%			
		(エ)	茨城国体・全国障害者スポーツ大会、 東京オリンピック・パラリンピックの 成功	5	1	6	-	-	6	1	7
83.3%	16.7%			100.0%	-	-					
(オ)	住み続けたいくなるまちづくり	1	1	2	3	-	5	-	5		
		20.0%	20.0%	40.0%	60.0%	-					
計 (指標数 36)				11	8	19	8	8	35	1	36
				31.4%	22.9%	54.3%	22.9%	22.9%			
合計 (総指標数 160)				47	31	78	32	35	145	15	160
				32.4%	21.4%	53.8%	22.1%	24.1%			

評価対象外 : 関連統計データが隔年調査等のため、R1実績値がないなど、今回評価の対象外とした指標。

3 評価結果（総括及び目標別）

1 総括評価

令和元年度の目標値を達成した「A」評価は、数値目標については評価対象指標計 11 指標のうち 2 指標で全体の 18.1%、K P I については評価対象指標計 145 指標のうち 47 指標で全体の 32.4%となった。

また、概ね期待した成果を得られたと考えられる「B+」評価以上は、数値目標については 5 指標で全体の 45.4%、K P I については 78 指標で全体の 53.8%となった。

2 目標別評価

(1) 基本目標 1 : 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

(指標数：数値目標 3 [うち評価対象 3]、K P I 61 [うち評価対象 51])

数値目標では、「雇用創出数」が昨年度の「B+」評価から「A」評価、「人口の社会移動数」が昨年度と同様「C」評価、「生産農業所得（販売農家一戸あたり）」が昨年度の「A」評価から「B+」評価となっている。

また、K P I について、「A」評価が 22 指標（43.1%）、「B+」評価以上が計 28 指標（54.9%）と半数を超えており、着実に達成が図られたものと考えられる。

政策別にみた場合、「(ア)科学技術を活用した新産業育成・中小企業の成長支援」、「(イ)質の高い雇用の創出」、「(ウ)強い農林水産業の実現」及び「(オ)多様な働き方の実現」については、「B+」評価以上の指標が半数以上を占めているが、「(エ)エネルギー対策の実現」について、「C」評価が 2 指標（66.7%）（「燃料電池自動車の普及台数」など）となっている。

(2) 基本目標 2 : 「新しい安心安全」へのチャレンジ

(指標数：数値目標 2 [うち評価対象 2]、K P I 30 [うち評価対象 30])

数値目標では、いずれも昨年度評価対象外だった「医師数」が「B+」評価、「健康寿命」が「A」評価となっている。

また、K P I について、「A」評価が 5 指標（16.7%）、「B+」評価以上が計 15 指標（50.0%）となっており、「B」評価以下が半数を占めるなど、関連指標の進捗状況にやや遅れがみられる。

政策別にみた場合、「(ア)県民の命を守る地域医療・福祉の充実」、「(ウ)障害者の就労機会の拡大」、「(エ)安心して暮らせる社会づくり」の 3 つの政策については、「B+」評価以上の指標が半数以上を占めており、目標は一定程度達成できたものと考えられる。一方で、「(イ)健康長寿日本一」については、「C」評価が 1 指標（14.3%）（「特定保健指導対象者数の割合」）、「(オ)災害に強い県土づくり」については、「C」評価が 1 指標（20.0%）（「消防団員数」）となっている。

(3) 基本目標3 : 「新しい人財育成」へのチャレンジ

(指標数: 数値目標 4 [うち評価対象 4]、KPI 33 [うち評価対象 29])

数値目標では、「生徒の英語力」が昨年度と同様に「B」評価、「全国レベルのプログラミングコンテスト(中高生向け)の入賞組数」が昨年度と同様に「C」評価、「理想の子ども数と実際の子ども数の差」が昨年度と同様に「B+」評価、「保育所等の待機児童数」が昨年度の「C」評価から「B」評価となっている。

また、KPIについては、「A」評価が9指標(31.0%)、「B+」評価以上が計16指標(55.2%)と半数を超えており、着実に達成が図られたものと考えられる。

政策別にみた場合、「(ア)次世代を担う「人財」育成」、「(イ)教育環境の充実」、「(エ)学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり」については、「B+」評価以上の指標が半数以上を占めており、目標は一定程度達成できたものと考えられる。一方で、「(ウ)日本一、子どもの産み育てやすい県」については、「C」評価が4指標(40.0%)、「マリッジサポーター数」などとなっている。

(4) 基本目標4 : 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

(指標数: 数値目標 2 [うち評価対象 2]、KPI 36 [うち評価対象 35])

数値目標では、「住みよさランキング100位以内の市数全国順位」が昨年度と同様に「C」評価となり、が昨年度と同様に「C」評価となっている。

また、KPIについては、「A」評価が11指標(31.4%)、「B+」評価以上が計19指標(54.3%)となっており、着実に達成が図られたものと考えられる。

政策別にみた場合、「(ア)魅力度No.1プロジェクト」、「(イ)世界に飛躍する茨城へ」、「(エ)茨城国体・全国障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功」については、「B+」評価以上の指標が半数以上を占めており、目標は一定程度達成できたものと考えられる。一方、「(ウ)ビジット茨城～新観光創生～」については、「C」評価が6指標(40.0%)、「宿泊観光入込客数(実人数)」など、「(オ)住み続けたいくなるまちづくり」については、「B」評価が3指標(60.0%)、「県の支援による買い物支援等実施市町村数」などとなっている。




4 施策（小項目）及び政策（中項目）の評価

（１）施策の評価方法

- ・ 各 K P I の評価結果を点数化（ A : 4 点、 B + : 3 点、 B : 2 点、 C : 1 点）し、施策を構成する K P I の点数を平均することにより、各施策の点数を算出する。
- ・ 各施策の評価は、点数に応じて、 A（ 4.0 ~ 3.1 点）、 B +（ 3.0 ~ 2.1 点）、 B（ 2.0 ~ 1.1 点）、 C（ 1 点）の 4 段階で評価。

（２）政策の評価方法

- ・ 政策を構成する施策の点数を平均し、「順調である」、「成果を上げつつある」、「取組の強化が求められる」の 3 段階で評価。

区分	施策の平均値
 順調である	4.0 点 ~ 3.0 点
 成果をあげつつある	2.99 点 ~ 2.0 点
 取組の強化が求められる	1.99 点 ~ 1.0 点

5 評価結果 【参考資料 2】

（１）施策（小項目）

	計	内訳			
		豊かさ	安心安全	人財育成	夢・希望
「 A 」評価	2 4	7	2	7	8
「 B + 」評価	2 7	7	9	7	4
「 B 」評価	1 6	5	4	2	5
「 C 」評価	1 2	2	4	4	2
評価対象外	5	2		2	1
計	8 4	2 3	1 9	2 2	2 0

(2) 政策(中項目)

- ・ 令和元年度までの5年間の取組の成果について評価した結果、「順調である」が6項目、「成果をあげつつある」が11項目、「取組の強化が求められる」が2項目。

区分	計	内訳			
		豊かさ	安心安全	人財育成	夢・希望
 順調である	6	1	1	2	2
 成果をあげつつある	11	3	3	2	3
 取組の強化が求められる	2	1	1		
計	19	5	5	4	5

6 地方創生関係交付金事業等について 【参考資料4】

- ・ 地方創生関係交付金等の成果について、8月に実施した創生会議での検証結果(33事業)を政策ごとに分類。

地方創生関係交付金事業等の実績(第1期の総合戦略の期間2015~2019)

- ・ 事業数 91事業
- ・ 交付決定額 約55億円